

会誌広報委員会では、『知財管理』誌の発行、JIPA ホームページを通じて、会員に有用な知的財産関連情報を提供しています。

委員会の構成

定例委員会

(編集管理、審議・決定)

第1小委員会

(企画テーマ推進、決定)

第2小委員会

- ・Q & A企画
- ・「今更聞けないシリーズ」企画
- ・一般原稿企画

- ・特集号原稿企画

- ・「判例と実務シリーズ」企画
- ・「判例研究」フォロー

・企画原稿、委員会原稿、投稿原稿の査読 ・編集後記 & 新刊書紹介 原稿執筆

『知財管理』誌について

『知財管理』誌は日本知的財産協会の機関誌 (月刊約3,800部) であり、会員相互の研鑽・交流情報誌としての役割を持ちます。
また、知的財産関係の専門誌としても高い評価を受けています。

大好評!!

『今更聞けないシリーズ』

「職務著作」って何だろう??
知財高裁ってどんなところ??

「今更聞けないよなあ・・・」という基礎的な知財用語や裁判例などを平易な文章で解説する新連載『今更聞けないシリーズ』。
初学者はもとより、中級者の復習にも役立てるよう、実務へのポイントも盛り込まれています。是非、ご愛読下さい!



特許だけでなく、意匠・商標・著作権・・・等、様々なテーマを取り上げます!!

予告!

今年の特集(3月)号

■ 特集テーマ ■

標準化活動の動向と知財戦略

近年の経済活動の国際化により、国際技術標準化活動の重要性が高まっています。そこで今年度は、標準化活動の現状や諸問題に触れ、企業としてどのように対処するべきかについて、特集します。

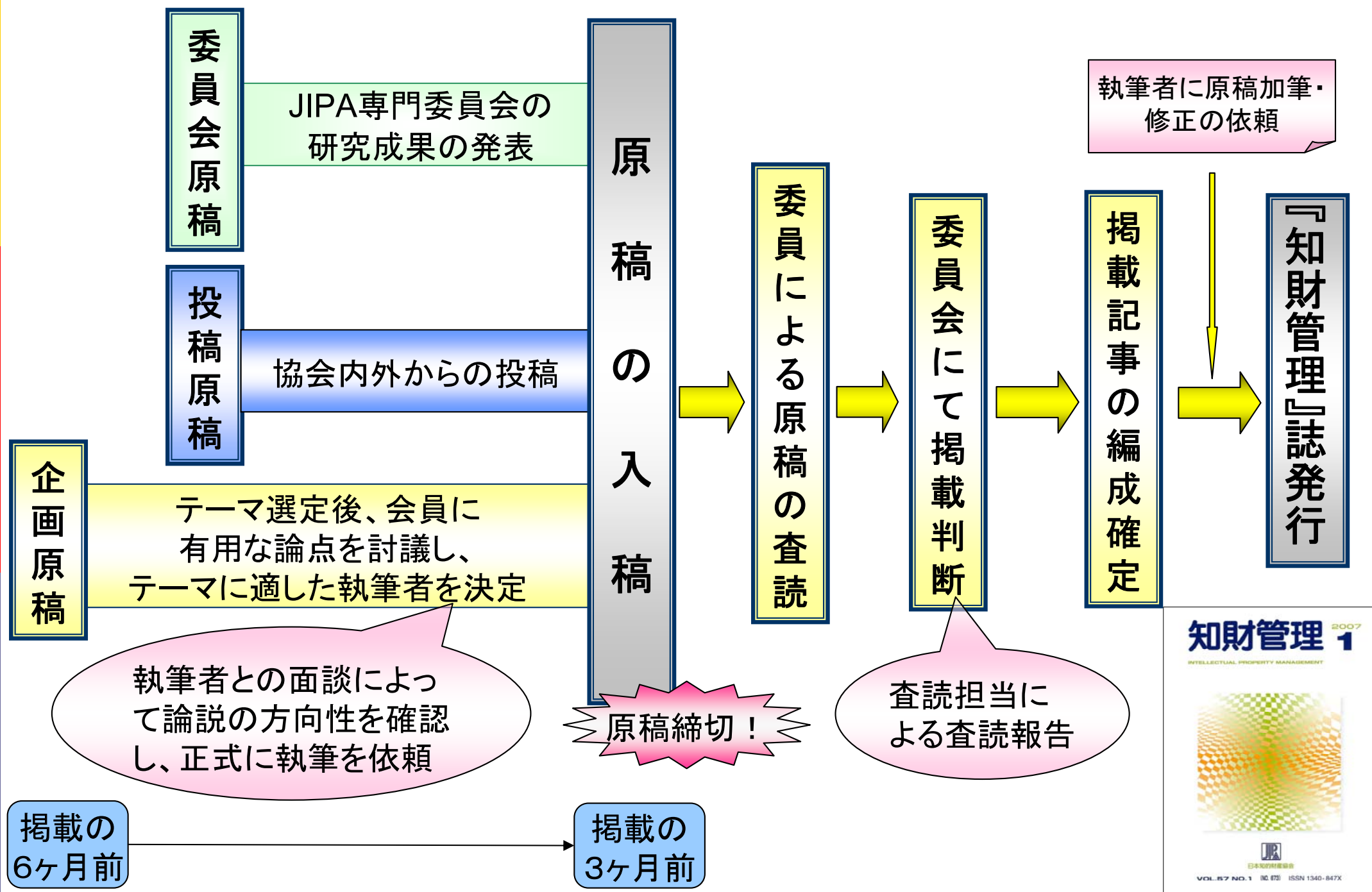
予告!

JIPA70周年誌発行

知的財産協会が今年度で設立70周年を迎えるにあたり、「70周年誌」が70周年記念プロジェクトより3月に発刊予定です。
過去20年間の協会活動を振り返り、協会全体、専門委員会、各部会、プロジェクト活動ごとの記事を掲載する予定です。

来年の特集号のテーマを只今企画中!

『知財管理』誌発行までの流れ



会誌広報委員会に参加してみませんか！

委員派遣される企業にとって

参画委員が原稿企画の執筆依頼を通じて外部専門家から得た知識を自社業務にフィードバックできます

参画委員が一流の専門家と人脈を形成することで、社外専門家とのネットワークを拡充できます

様々な業種の集まりであるため、多様な角度から知財情報を収集することができます

参画委員が委員会活動を通じて視野と見識を広げ、成長する場として期待できます

参加される委員にとって

原稿企画の実践を通じて企画スキルが向上し多様なテーマの論文通読により知識の幅が広がります

原稿執筆依頼等を通じて一流専門家との人脈を形成することができます

委員会メンバーは様々な業種・専門性・職域から構成されており、その交流を通して視野が広がります

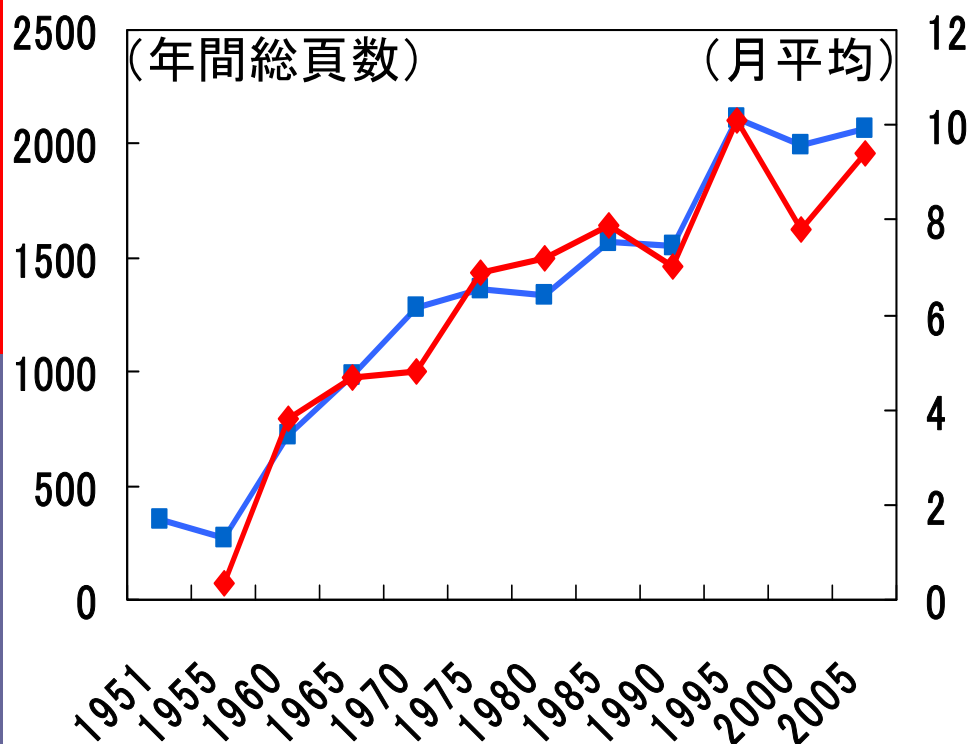
委員会を通じて社内ではできないキャリア開発と他社委員との人脈形成が出来ます

会誌広報委員会へ参画することは、企業、委員にとって大きなメリットがあります。
貴社も会誌広報委員会へ参加してみませんか！

「知財管理誌」の歴史

1951年1月 重陽会々報 第1号発行
 1956年9月 会報 と名称変更
 1957年1月 特許管理 と名称変更
 1994年1月 知財管理 と名称変更
 2004年4月 B5版からA4版に規格変更

■ 総頁数 ■ 論文・資料の数



現在の
知財管
理誌

JIPAホームページ

<http://www.jipa.or.jp/>

TOPページ

協会会員内外に様々な
有益情報を発信

知財管理誌ページ

投稿・執筆してみたい
方はこちら！！

※なお、JIPAホームページは今年3月により使い易くリニューアル予定です♪